

Casa-Museu Abel Salazar

について



アベル・サラザール美術館（Casa-Museu Abel Salazar）

高名な医師にしてポルト大学（Universidade do

Porto）の組織学教授であったアベル・サラザール（1889 - 1946）が住んでいた家、サン・マメデ・デ・インフェスタ（São Mamede de Infesta）は、ルイ・レイス・ゴメス教授と友人らからの強い要望により、1950年に美術館へと生まれ変わりました。この美術館設立は、アベル・サラザールが時代の問題に立ち向かうために、知性や社会的な面で大きく貢献してきたことをたたえたものです。

館内には当時の内装が残されており、一連の油彩画、彫刻、版画が展示されていると同時に、アベル・サラザール自身の芸術に対する興味や才能を表す個人的な品々も見ることができます。

中でも注目したいのは、エンリケ・ボウザンの作品にならった習作、ソアレス・ドス・レイスやコルンバーノなどのポルトガル人アーティストへのオマージュとしてつくられた作品、彼の芸術哲学を反映した作品です。

問い合わせ先

Rua Dr. Abel Salazar, 488 4465-012 São Mamede de Infesta

電話： +351 969 872 425

Eメール: cmuseu@reit.up.pt

ウェブサイト: <https://cmas.up.pt/>

特色とサービス

ショップ

ガイドツアー

バリアフリー案内

入口へのバリアフリー経路

- 全部

バリアフリー入口

- 全部

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア

建物内のバリアフリー通路

- 一部

バリアフリーのエリア / サービス

- 店舗

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。